

国立国語研究所学術情報リポジトリ

リーグ戦式ロールプレイ会話：場面1「出欠確認談話」

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-03-18 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00002757

リーグ戦式ロールプレイ会話：場面1「出欠確認談話」

酒井 雅史
(大阪大学大学院)

1. 場面設定

リーグ戦式ロールプレイ調査（以下、リーグ戦式調査）とは、同輩関係にある2名にその2名の先輩にあたる人物1名を加えた3名1組内での電話による総当たりのロールプレイ会話の調査である。リーグ戦式調査のうち本稿で扱う場面1は、敬語の運用を把握することを目的に設定された場面である。場面設定を以下にあげる。

(1) 場面設定1-1（同輩同士の会話）

[A（電話のかけ手）への指示]

あなた（A）は来月行く、ゼミ（サークル・親睦グループ等）の旅行の幹事です。旅行の打合せ会を欠席していたBさんに旅行に行くかどうかを尋ねてください。Bさんが旅行にCさんが来るかを尋ねてくるので、来ることを伝えてください。Bさんの出欠が確認できたら適当なところで電話を終えてください。

[B（電話の受け手）への指示]

Aさんから電話がかかってきます。Aさんがゼミ（サークル・親睦グループ等）の旅行に行くかどうか尋ねてくるので、Cさんが来るかを尋ねたうえで行くことと返事をしてください。

(2) 場面設定1-2（先輩・後輩の会話）

[A（電話のかけ手）への指示]

あなた（A）は来月行く、ゼミ（サークル・親睦グループ等）の旅行の幹事です。旅行の打合せ会を欠席していたCさんに旅行に行くかどうかを尋ねてください。Cさんが旅行にEさんが来るかを尋ねてくるので、来ることを伝えてください。Cさんの出欠が確認できたら適当なところで電話を終えてください。

[C（電話の受け手）への指示]

Aさんから電話がかかってきます。Aさんがゼミ（サークル・親睦グループ等）の旅行に行くかどうか尋ねてくるので、Eさんが来るかを尋ねたうえで行くことと返事をしてください。

それぞれの場面において対者待遇・第三者待遇をみるため、場面1-1ではAとBの先輩にあたるCさんを、場面1-2では3者にとって上位者にあたる人物Eさん（先生）を第三者としてそれぞれ上位者に設定した。

2. 先行研究

方言の待遇表現研究にはこれまでに多くの蓄積がある。その中でも、待遇表現の運用に関しては、東日本で敬語が不活発なのに対して、西日本では敬語が活発に用いられていること（加藤 1973）、西日本において第三者待遇表現が活発に用いられていること（宮治 1987）、また近畿地方では敬卑・親愛表現が発達していること（岸江 1998、西尾 2005）などが示されている。しかし、これら運用面に関する研究ではアンケート調査や面接調査によるものが多く、実際の会話にみられた待遇表現運用を分析したものは篠原（2005）や辻（2009）以外は管見の限り見あたらない。

待遇表現などの言語運用の研究は内省・面接調査のみでは困難であり、談話資料を用いた研究が非常に重要となる。しかし、これまでの方言談話資料は地域差を明らかにするために必須となる登場人物の属性や場面を揃えることは難しく、そのため待遇表現の地域差を比較・対照した研究はこれまで行なわれてこなかった。本研究のロールプレイ談話では、それらの属性・場面を揃えることができ、談話における待遇表現の地域差を実証的に明らかにすることが可能となる。

本稿では以上のことをふまえたうえで、リーグ戦式調査の場面1の会話から、関西若年層男性ペア（kns_lm02）と首都圏若年層女性ペア（sht_lf04）の会話を取りあげ、談話構造および使用される敬語要素の特徴について述べる。

3. 談話構造と談話展開

リーグ戦式調査における談話構造を整理すると以下表1のようになる²⁾。

表1 リーグ戦式談話調査1の構造

		同輩同士(A-B)の会話		先輩後輩(A-C)の会話	
		A	B	A	C
開始部	相手確認	《名乗り》		《名乗り》 《あいさつ》 《状況確認》	《あいさつ》
	事情説明	《事情確認》 《事情説明》	《理由説明》	《事情確認》 《事情説明》	《理由説明》
展開部	用件のやりとり	《用件のきりだし》 《出欠の確認》 《質問に対する応答》 《表明に対する了解》	《表明のための質問》 《出欠の表明》	《用件のきりだし》 《出欠の確認》 《質問に対する応答》 《表明に対する了解》	《表明のための質問》 《出欠の表明》
	依頼	《依頼に対する応答》	《用件に対する依頼》	《依頼に対する応答》	《用件に対する依頼》
終了部	別れの挨拶	《別れの挨拶》	《別れの挨拶》	《別れの挨拶》	《別れの挨拶》

リーグ戦式調査の場面1の会話では、表1に示したように、「相手確認」→「事情説明」

2) 以下、会話の参加者を「電話の掛け手・電話の受け手」の形で示す。また、表中の機能的要素は、左に掛け手のものを、右に受け手のものをそれぞれ示している。

→「用件のやりとり」→「依頼」→「別れの挨拶」の展開で会話が進められる。そして、同輩同士・先輩後輩の会話ともにほぼ同じ機能的要素が現れる。

一方、「相手確認」において、先輩のCに対する会話では《名乗り》に加えて《あいさつ》《状況確認》の発話がみられるが、同輩のB相手の会話では《名乗り》のみの会話となっている。以上のように、同輩同士と先輩後輩の会話では現れる機能的要素の違いが観察されるが、同じ機能的要素がみられてもそこにはいくつかの違いがみられる。以下、4節で関西若年層男性ペアを、5節で首都圏若年層女性ペアをとりあげて談話構造および談話展開についてみたのち、6節でリーグ戦式調査の目的である敬語要素の現れ方に述べる。

4. 関西若年層男性ペアの分析

本節では、関西若年層男性ペアの会話例をもとに、リーグ戦式調査の場面1における会話についてみていく。4.1.節で同輩同士の会話について、4.2.節で先輩後輩の会話についてみていく。

4.1. 同輩同士の会話

本節では、関西若年層男性ペアの会話のうち、同輩同士の会話を表2にあげる。表2では、具体的な会話例とともに談話構造・談話展開・機能的要素をそれぞれ示している。

表2 同輩同士の会話（関西若年層男性ペア：A-B）

談話構造	談話展開	本文	機能的要素	
			A	B
開始部	確相 認手	0001B:もしもしー↑。 0002A:もしもしー。 0003B:はいはいーい。		
主要部	事情 説明	0004A:あんなー、 0005B:うーん。 0006A:あーの、この前、ゼミ休んどったやんかー。 0007B:あー、ごめんなー。ちょっとなー、腹壊しとってん。 0008A:あ、そうなんや。 0009B:うーん。	《用件のきりだし1》 《事情確認》	《理由説明》
	用 件 の や り と り	0010A:うん。んでなー、来月ーのな、 0011B:／／ん。 0012A:ゼミーの旅行な、／／どうする。 0013B:うん。 0014A:行く↑。 0015B:あ、ゼミの旅行↑。 0016A:うん。 0017B:ええととなー、あ、それってさー、 0018A:／／うん。 0019B:C(姓)さん来はるん。 0020A:C(姓)さん来るよー。 0021B:あ、来はるんや。 0022A:うん。 0023B:あー、んじゃあ、んー、そうやなー、んじゃ行くわー。うん。 0024A:じゃあ、オツケー、わかった。	《用件のきりだし2》 《出欠の確認1》 《出欠の確認2》 《質問に対する応答》 《表明に対する了解》	《表明のための質問1》 《表明のための質問2》 《驚き》 《出欠の表明》
終了部	依頼 別れの 挨拶	0025B:うん、それではよろしくー。 0026A:ほーい、ほなねー。 0027B:はいーい。	《用件に対する応答》《別れの挨拶》	《用件に対する依頼》 《別れの挨拶》

同輩同士の会話では、電話の掛け手であるAは、会話冒頭の「呼びかけー応答」のあと、

なんの前置きをすることもなく「あんなー」(0004A)と《用件の切り出し》を行なっている。そして、Aの用件に対する電話の受け手Bの《用件に対する依頼》「うん、それで、よろしく」(0019B)に対する応答ののち、そのまま《別れのあいさつ》を述べ、会話が終了している。以上のような会話のやりとりからは、談話展開に遠慮のなさや、話者間の心理的距離のなさが読み取れ、同輩同士の会話の典型であると考えられる。

4. 2. 先輩後輩の会話

次に、関西若年層男性ペアのうち先輩後輩による会話を表3に示す。

表3 先輩後輩の会話（関西若年層男性ペア：A-C）

談話構造	談話展開	本文	機能的要素	
			A	C
開始部	相手確認	0001C:もしもし。 0002A:あ、もしもしー、A(姓)です。こんにちは。 0003C:あー、こんにちは。どうしたん↑。 0004A:え、すいません。今、お時間、大丈夫ですか。 0005C:うん、いいよー。	《名乗り》《あいさつ》 《状況確認》	《あいさつ》
主要部	事情説明	0006A:はい。C(姓)さん、この前、あの、ゼミ、来てはらなかったですよ。 0007C:うーん。あ、ごめん、寝てたわ。 0008A:あ、ほんま／＼ですか。[笑] 0009C:うーん。 0010A:で、あの一、来月一の、あの、ゼミの旅行の、 僕、今、／＼幹事してるんですけど、 0011C:あーあーあー、ゆうてた／＼な。 0012A:んで、この前、あの一、出欠とったんですけ／＼ど一、 0013C:ふんふん／＼ふん。	《事情確認》 《状況説明1》 《状況説明2》	
	用件のやりとり	0014A:C(姓)さん、おりはらなかったんで、／＼どないしはるんかな。 0015C:あー、あ、そうかそうか。ごめんごめん。 それ、答え／＼ておかなあかんかったな一。 0016A:はい。 0017C:えつと一、え一、旅行か。え一、E先生って来んの↑。 0018A:あ、はい、E先生は来られ／＼ま一す。 0019C:あー、来んの。意外や／＼な。 0020A:はい。 0021C:うん。な、わかった。じゃ、俺も行くわ。 0022A:あ、わかりまし／＼た。	《状況説明3》 《質問に対する応答》 《表明に対する了解》	《表明のための質問》 《出欠の表明》
終了部	依頼	0023C:うん、じゃあ、あとはなんかまた連絡させるわ。 0024A:あ、はい、 0025C:／＼はい、また、 0026A:また連絡します一。	《依頼に対する応答1》 《依頼に対する応答2》	《用件に対する依頼》
	別れの挨拶	0027C:はい、ほな／＼ね一。 0028A:はい。はい、失礼します一。	《別れの挨拶》	《別れの挨拶》

先輩後輩の会話では、会話冒頭部におけるAの《名のり》(0002A)《状況確認》(0004A)や、電話を掛けた理由に関する詳細な《状況説明》など(0010A、0012A、0014A)、同輩同士にはない機能的要素が現れ、会話が進められる。さらに、受け手が欠席していたことを伝える発話においても、同輩同士の会話ではそのまま欠席していたことを伝えているのに対して(「あの一この前ゼミ休んどったやんか」(0006A))、先輩へは否定疑問形で述べられている(「あっCさんこの前あのゼミ一来てはらなかったですよ？」(0006A))。以上のように先輩後輩の会話ではさまざまな配慮がみられる。心理的距離のある話者同士によるやり取りが窺え、先輩後輩の関係にある話者間の典型的なやりとりであると思われる。

5. 首都圏若年層女性ペアの分析

本節では、首都圏若年層女性ペアの会話例についてみていく。5.1 節で同輩同士の会話について、5.2 節で先輩後輩の会話についてみていく。

5. 1. 同輩同士の会話

首都圏若年層女性ペアの会話例を、談話構造・談話展開・機能的要素とともにまとめて表4に示す。

表4 同輩同士の会話（首都圏若年層女性ペア：A-B）

談話構造	談話展開	本文	機能的要素	
			A	B
開始部	確相認手	0001B:もしもしー↑。 0002A:あ、もしもし、B(名)↑。 0003B:うん。 0004A:A(名)。 0005B:うん。	《名乗り》	
主要部	事情説明	0006A:あのさーあ、 0007B:うん。 0008A:来月にさーあ、あの、やらい、野外活動あるじゃん。 0009B:うん。 0010A:で、今日、それのー、打ち合わせ会やったんだけどー、 0011B:うん。 0012A:今日、B(名)、いなかっただじゃん↑。 0013B:あーあーあー。	《用件のきりだし》 《事情確認》 《状況説明1》 《状況説明2》	
	用件のやりとり	0014A:だからさー、その、りよこ、あー、 野外活動に来るかどうか、確認したいんだけどー。 0015B:うん。え、ねー、それってさー／あ、 0016A:うん。 0017B:C(名)さん、来る↑。 0018A:うん。／／いらっしやるよ。 0019B:あー、じゃあ、行く。 0020A:はい。じゃあ、参加で。	《出欠の確認》 《質問に対する応答》 《表明に対する了解》	《表明のための質問》 《出欠の表明》
	依頼	0021B:うん。／／お願いします。 0022A:じゃあ、伝えときまーす。はーい。 0023B:はい。	《依頼に対する応答》	《用件に対する依頼》
終了部	別れの挨拶	0024A:じゃあねー。 0025B:バイバイ。	《別れの挨拶》	《別れの挨拶》

首都圏若年層女性ペアの同輩同士による会話では、関西若年層男性ペアの同輩同士の会話例と同様に、会話冒頭部ですぐに《用件のきりだし》が行なわれている。電話の掛け手による《名乗り》が行なわれているが（「A(名)」(0004A)）自身の名を言うのみである。また、《状況確認》など先輩後輩の会話でみられる配慮のあると思われるやりとりは行なわれていない。

関西若年層男性ペアの会話に比べて《名乗り》がある点、《依頼に対する応答》で「伝えときまーす」(0022A)などのように受け手であるBの依頼（「うん。お願いします。(0021B)」）に対する具体的な発話がある点、丁寧なやりとりであると言える。しかし、5. 2. 節でみる先輩後輩の会話と比べると、機能的要素の現れ方には違いがみられ、気の置けない者同士による会話であることが窺える。

5. 2. 先輩後輩の会話

次に、首都圏若年層女性ペアの会話例のうち、先輩後輩による会話を取りあげる。具体的な会話例は以下の表5に示したとおりである。

表5 先輩後輩の会話（首都圏若年層女性ペア：A-C）

談話構造	談話展開	本文	機能的要素	
			A	C
開始部	確相 認手	0001C: もしもーし。 0002A: あ、もしもし、こんにちはー。 0003C: あ、／＼はい、こんにちはー。 0004A: あの、児教1年のA(名)です。 0005C: はーい。どしたの。	《あいさつ》 《名乗り》	《あいさつ》
		0006A: あのー、来月にー、 0007C: ／＼うん。 0008A: あの、野外活動、あるじゃないですかー。 0009C: うん、あるね。	《状況説明1》 《状況説明2》	
主要部	用件 のやり とり	0010A: でー、それってー、あの、C(名)さん、こないだ欠席されていたので、 出欠を確認できていないんですがー、 0011C: うん。 0012A: C(名)さん、来られますか↑。 0013C: あー、E先生って来るのー。 0014A: あ、E先生、いらっしゃいます。 0015C: あー、そっかー。 0016A: ／＼はい。 0017C: うん、じゃあ、行こうかなー。 0018A: ／＼あ、 0019C: じゃ、うん、 0020A: ／＼はい。	《状況説明3》 《出欠の確認》 《質問に対する応答》	《表明のための質問》 《出欠の表明》
		0021C: 出席をお願いします。 0022A: わかりましたー。 0023C: ／＼はい。 0024A: じゃ、また、詳細はまた後日、連絡い、します。 0025C: うん、お願いします。	《依頼に対する応答1》 《依頼に対する応答2》	《用件に対する依頼1》 《用件に対する依頼2》
		0026A: はい、すみませんでした。[笑] 0027C: [笑]はい。 0028A: 失礼しまーす。	《別れの挨拶》	
終了部	別れの 挨拶			

先輩後輩による会話では、まず開始部で、後輩からの《あいさつ》があり、《名乗り》が行なわれる。また、同輩同士の会話では「野外活動に来るかどうか、確認したいんだけどー。」(0014A)という発話で《出欠の確認》をしている一方、先輩に対しては来るかどうかを丁寧に尋ねている(「C(名)さん、来られますか↑。」(0012A))。これらのほか、《依頼に対する応答》では、了解を示す発話に加えて(「わかりましたー。」(0022A))、今後どうするかについての発話がある点や(「じゃ、また、詳細はまた後日、連絡い、します。」(0024A))、敬語要素などの具体的な言語形式をみると、同輩同士とは異なり、配慮のみられる会話であると考えられる。

5. 3. 談話展開と機能的要素のまとめ

ここまでは、リーグ戦式調査の場面1に関する会話例のうち典型的なものをとりあげ、談話構造・談話展開・機能的要素の現れ方についてみてきた。談話展開・機能的要素の現れ方についてまとめると、以下のようになる。

- (a) 談話展開は、同輩同士の会話でも先輩後輩の会話でも違いはなく、「相手確認」→「事情説明」→「用件のやりとり」→「依頼」→「別れの挨拶」の順に行なわれる。

- (b) 機能的要素の現れ方は、談話展開とは異なり、同輩同士の会話と先輩後輩の会話とでは違いがみられる。すなわち、先輩後輩の会話では、《あいさつ》や《名乗り》、詳細な《状況説明》など、配慮の表れとみられる機能的要素のやりとりがみられる一方、同輩同士の会話では、これらの機能的要素はほとんど現れない。
- (c) 同じ機能的要素がみられる場合でも、先輩後輩の会話では、否定疑問文で質問するなど敬語形式の使用以外にも、明確な配慮のある表現が用いられている。

6. 敬語要素の現れ方

4 節および 5 節では、関西若年層男性ペアと首都圏若年層女性ペアの会話を例に、機能的要素の現れ方や用いられる表現の違いについて典型的と思われるものについて確認した。本節では、リーグ戦式調査の目的である敬語要素の現れ方についてみていく。6. 1. 節で尊敬語の運用について、6. 2. 節で丁寧語の使用・不使用について述べる。

6. 1. 尊敬語の運用

本節では、尊敬語の運用について触れておく。

リーグ戦式調査の場面 1 は、電話の掛け手が電話の受け手に旅行に行くかどうかを尋ねる場面である。それぞれの会話では「電話の受け手が旅行の打ち合わせ会議に欠席していたため連絡をした」というように電話を掛けた理由を述べる発話が共通してみられる。対者待遇については「欠席していた」にあたる発話に尊敬語が使用されていたかどうかについてみる。

一方、第三者待遇では、電話の掛け手に旅行への参加を尋ねられた受け手が、上位者として設定した人物（E）が旅行に来るかどうかを尋ねるという場面を設定している。第三者待遇では、電話の受け手が「上位者は来るか」を尋ねる発話に尊敬語が使用されるか否についてみる。

まず、対者待遇について述べる。本稿で取り上げた会話例から該当する発話は (3) から (6) のようであった。

(3) 0006A : あーの、この前、ゼミ休んどったやんかー。 【kns_lm02 : A→B】

(4) 0006A : はい。C (姓) さん、この前、あの、ゼミー、来てはらなかつたですよ
ね。 【kns_lm02 : A→C】

(5) 0012A : 今日、B (名) 、いなかつたじゃん↑。 【sht_1f04 : A→B】

(6) 0010A : でー、それってー、あの、C (名) さん、こないだ欠席されていたので、
出欠を確認できていないんですがー、 【sht_1f04 : A→C】

発話例 (3) から (6) をみてわかるように、尊敬語は同輩同士の会話では使用されないが、

先輩後輩の会話では、後輩から先輩に対して尊敬語の使用がみられる³⁾。

つぎに、第三者待遇における尊敬語の使用をみる。具体的な発話例を、以下(7)から(10)にあげる。

(7) 0019B : C (姓) さん来はるん。 【kns_lm02 : B→C】

(8) 0017C : えっとー、えー、旅行か。えー、E先生って来んの↑。 【kns_lm02 : C→E】

(9) 0017B : C (名) さん、来る↑。 【sht_lf04 : B→C】

(10) 0013C : あー、E先生って来るのー。 【sht_lf04 : C→E】

第三者待遇では、対者待遇と同様に設定した上位者に対して必ずしも尊敬語が使用されるわけではない。本稿で取り上げた会話例の中では、関西若年層男性の同輩同士の会話においてのみ尊敬語の使用がみられた。尊敬語形式は方言形のハルが用いられている。

6. 2. 丁寧語の使用・不使用

次に本節では、丁寧語の使用について触れる。丁寧語の使用についてみると、同輩同士の会話では基本的に用いられない。一方、先輩後輩の会話では後輩から先輩に対しては用いられるが先輩から後輩に対しては用いられない。

(11) 0006A : あーの、この前、ゼミ休んどったやんかー。
0007B : あー、ごめんなー。ちょっとなー、腹壊しとってん。 【kns_lm02 : A→B】

(12) 0019B : あー、じゃあ、行く。
0020A : はい。じゃあ、参加で。 【sht_lf04 : A→B】

一方、同輩同士の会話、先輩後輩の会話における先輩から後輩への丁寧語の使用は、(13)のような慣習的と思われる使用および、(14) (15)のようなある立場に則ったときに使用がみられるのみである⁴⁾。

(13) 0021B : うん。／／お願いします。 【sht_lf04 : A→B】

(14) 0022A : じゃあ、伝えときまーす。はい。 【sht_lf04 : A→B】

(15) 0021C : 出席でお願いします。 【sht_lf04 : A→C】

6. 3. 敬語要素のまとめ

以上、本節では、敬語要素の現れ方について、取り上げた会話例をもとに尊敬語の運用(6. 1. 節)と丁寧語の使用・不使用(6. 2. 節)についてみた。本稿では取り上げていないが、本プロジェクトで収集・分析を行なっている他地点の結果を合わせて、敬語要素

3) 以下、発話の用例では、会話IDと話し手・待遇対象を末尾に【会話ID : 話し手→待遇対象】の形で示す。

4) リーグ戦式調査の結果における丁寧語使用の詳細については酒井(2013b)を参照されたい。

の現れ方についてまとめると以下のことが明らかとなっている⁵⁾。

- (d) それぞれの場面において設定された上位者に対して尊敬語を用いるか否かといった尊敬語運用のあり方には、地域差がみられる。
- (e) 尊敬語を使用する場合でも、用いられる形式が標準語形式を用いる地域と方言形式を主に用いる地域とに大きく分かれる。また、どちらの形式を使用するかは尊敬語運用のあり方との関係がみられる。
- (f) 丁寧語の使用については、目立った地域差はみられない。

7. まとめ

以上、本稿では、リーグ戦式調査の場面1について典型的な例をとりあげ、談話構造・談話展開・機能的要素の現れ方を確認したのち、敬語要素の表れについて述べた。本稿で述べたように、日本語方言の待遇表現について談話データに基づく運用のあり方をもとに述べたものは少ない。本稿で示した分析例のように、敬語運用のあり方だけではなく、談話展開や機能的要素の現れ方との関連など、今後談話データを用いた研究が進められていくべきであろう。

参考文献

- 加藤正信(1973)「全国方言の敬語概観」林四郎・南不二男(編)『敬語講座6 現代の敬語』pp.25-83, 明治書院
- 岸江信介(1998)「京阪方言における親愛表現構造の枠組み」『日本語科学』3, pp.23-46, 国立国語研究所
- 酒井雅史(2013a)「ロールプレイ会話からみる敬語運用の地域差」『国立国語研究所時空間変異系合同研究発表会予稿集』, pp161-168, 国立国語研究所時空間変異系
- (2013b)「ロールプレイ会話における丁寧語使用と談話展開」国立国語研究所共同研究プロジェクト「方言談話の地域差と世代差に関する研究」公開研究発表会発表資料、於関西大学
- (2014)「若年層の敬語運用の類型化の試み—ロールプレイ会話データを用いて—」『国立国語研究所時空間変異系合同研究発表会予稿集』, pp85-94, 国立国語研究所時空間変異系
- 篠原玲子(2005)「尊敬語運用の意識と実態—姫路市方言のテ敬語使用者を事例として—」『第80回 日本方言研究会研究発表会発表原稿集』pp.49-56, 日本方言研究会
- 辻加代子(2009)『「ハル」敬語考—京都語の社会言語史』ひつじ書房

5) 尊敬語の運用および、尊敬語の運用と丁寧語の使用を合わせた地域差についての詳細は、酒井(2013a ; 2014)を参照いただきたい。

- 西尾純二(2005)「大阪府を中心とした関西若年層における卑語形式「ヨル」の表現性—関係性待遇と感情性待遇の観点からの分析—」『社会言語科学』7-2, pp.50-65, 社会言語科学学会
- 宮治弘明(1987)「近畿方言における待遇表現運用上の一特質」『国語学』151, pp.38-56, 日本語学会

リーグ戦式ロールプレイ会話：場面1「確認談話」

(1) 関西若年層男性ペア（同輩同士）

【開始部】

相手確認	0001B：もしもしー↑。	B：注目要求
	0002A：もしもしー。	A：注目要求
	0003B：はいはい。	B：注目表示

【主要部】

事情説明	0004A：あんなー、	A：(未完)
	0005B：うーん。	B：注目表示
	0006A：あーの、この前、ゼミ休んどったやんかー。	A：情報要求
	0007-1B：あー、	B：注目表示
	0007-2B：ごめんなー。	B：関係づくり，儀礼
	0007-3B：ちょっとなー、腹壊しとってん。	B：陳述・表出
	0008A：あ、そうなんや。	A：注目表示
	0009B：うーん。	B：注目表示
	用件のやりとり	0010-1A：うん。
0010-2A：んでなー、来月ーのな、		A：情報要求（1/2）
0011B：／／ん。		B：注目表示
0012A：ゼミーの旅行な、／／どうする。		A：情報要求（2/2）
0013B：うん。		B：注目表示
0014A：行く↑。		A：情報要求
0015-1B：あ、		B：注目表示
0015-2B：ゼミの旅行↑。		B：情報要求
0016A：うん。		A：陳述・表出
0017-1B：ええっとなー、		B：注目要求
0017-2B：あ、それってさー、		B：情報要求（1/2）
0018A：／／うん。		A：注目表示
0019B：C（姓）さん来はるん。		B：情報要求（2/2）
0020A：C（姓）さん来るよー。		A：陳述・表出
0021B：あ、来はるんや。		B：注目表示
0022A：うん。		A：注目表示
0023B-1：あー、んじゃあ、んー、	B：注目表示	
0023B-2：そうやなー、んじゃ行くわー。	B：陳述・表出	
0023B-3：うん。	B：注目表示	
0024A：じゃあ、オッケー、わかった。	A：注目表示，陳述・表出	

【終了部】

依頼	0025-1B : うん、	B : 注目表示
	0025-2B : それでよろしくー。	B : 関係づくり, 儀礼
別れの挨拶	0026-1A : ほーい、ほなねー。	A : 注目表示
	0026-2A : ほなねー。	A : 関係づくり, 儀礼
	0027B : はーい。	B : 注目表示

(2) 関西若年層男性ペア (先輩後輩)

【開始部】

相手確認	0001C : もしもし。	C : 注目要求
	0002-1A : あ、	A : 注目表示
	0002-2A : もしもしー、	A : 注目要求
	0002-3A : A (姓) です。	A : 陳述・表出
	0002-4A : こんにちは。	A : 関係づくり, 儀礼
	0003-1C : あー、	C : 注目表示
	0003-2C : こんにちは。	C : 関係づくり, 儀礼
	0003-3C : どうしたん↑。	C : 情報要求
	0004-1A : え、	A : 注目表示
	0004-2A : すいません。	A : 関係づくり, 儀礼
	0004-3A : 今、お時間、大丈夫ですか。	A : 情報要求
	0005C : うん、いいよー。	C : 陳述・表出

【主要部】

事情説明	0006-1A : はい。	A : 注目表示
	0006-2A : C (姓) さん、この前、あの、ゼミー、来てはらなかったですよ。	A : 情報要求
	0007-1C : うーん。	C : 注目表示
	0007-2C : あ、	C : 注目表示
	0007-3C : ごめん、	C : 関係づくり, 儀礼
	0007-4C : 寝てたわ。	C : 陳述・表出
	0008A : あ、ほんま//ですか。{笑}	A : 注目表示
	0009C : うーん。	C : 注目表示
	0010A : で、あの一、来月一の、あの、ゼミの旅行の、僕、今、//幹事してるんですけど、	A : 陳述・表出
	0011-1C : あーあーあー、	C : 注目表示
	0011-2C : ゆうてた//な。	C : 陳述・表出
	0012A : んで、この前、あ一の、出欠とったんですけ//ど一、	A : 陳述・表出
	0013C : ふんふん//ふん。	C : 注目表示

用 件 の や り と り	0014A : C (姓) さん、おりはらなかつたんで、／／どないしはるんかな。	A : 情報要求
	0015-1C : あー、あ、そうかそうか。	C : 注目表示
	0015-2C : ごめんごめん。	C : 関係づくり, 儀礼
	0015-3C : それ、答え／／ておこなあかんかつたなー。	C : 陳述・表出
	0016A : はい。	A : 注目表示
	0017C : えっとー、えー、旅行か。	C : 注目表示
	0017C : えー、E先生って来んの↑。	C : 情報要求
	0018-1A : あ、はい、	A : 注目表示
	0018-2A : E先生は来られ／／まーす。	A : 陳述・表出
	0019-1C : あー、来んの。	C : 注目表示
	0019-2C : 意外や／／な。	C : 陳述・表出
	0020A : はい。	A : 注目表示
	0021-1C : うん。	C : 注目表示
	0021-2C : な、わかつた。	C : 陳述・表出
	0021-3C : じゃ、俺も行くわ。	C : 陳述・表出
	0022-1A : あ、	A : 注目表示
0022-2A : わかりまし／／た。	A : 陳述・表出	

【終了部】

依 頼	0023C : うん、	C : 注目表示
	0023C : じゃあ、あとはなんかまた連絡任せるわ。	C : 陳述・表出
	0024A : あ、はい、	A : 注目表示
	0025C : ／／はい、	C : 注目表示
	0025C : また、	C : 関係づくり, 儀礼
	0026A : また連絡しますー。	A : 陳述・表出
別 れ の 挨拶	0027-1C : はい、	C : 注目表示
	0027-2C : ほな／／ねー。	C : 関係づくり, 儀礼
	0028-1A : はい。	A : 注目表示
	0028-2A : はい、失礼しまーす。	A : 関係づくり, 儀礼

(3) 首都圏若年層女性ペア (同輩同士)

【開始部】

相 手 確 認	0001B : もしもしー↑。	B : 注目要求
	0002-1A : あ、	A : 注目表示
	0002-2A : もしもし、	A : 注目要求
	0002-3A : B (名) ↑。	A : 情報要求
	0003B : うん。	B : 陳述・表出

	0004A : A (名)。	A : 陳述・表出
	0005B : うん。	B : 注目表示

【主要部】

事情説明	0006A : あのさーあ、	A : 注目要求
	0007B : うん。	B : 注目表示
	0008A : 来月にさーあ、あの、やらい、野外活動あるじゃん。	A : 陳述・表出
	0009B : うん。	B : 注目表示
	0010A : で、今日、それの一、打ち合わせ会やったんだけどー、	A : 陳述・表出
	0011B : うん。	B : 注目表示
	0012A : 今日、B (名)、いなかったじゃん↑。	A : 情報要求
	0013B : あーあーあー。	B : 注目表示
用件のやりとり	0014A : だからさー、その、りょこ、あー、野外活動に来るかどう か、確認したいんだけどー。	A : 陳述・表出
	0015-1B : うん。	B : 注目表示
	0015-2B : え、ねー、それってさー／／あ、	B : 情報要求 (1/2)
	0016A : うん。	A : 注目表示
	0017B : C (名) さん、来る↑。	B : 情報要求 (2/2)
	0018A : うん。／／いらっしゃるよ。	A : 陳述・表出
	0019-1B : あー、	B : 注目表示
	0019-2B : じゃあ、行く。	B : 陳述・表出
	0020A : はい。じゃあ、参加で。	A : 注目表示, 陳述・表出
依頼	0021-1B : うん。	B : 注目表示
	0021-2B : ／／お願いします。	B : 関係づくり, 儀礼

【終了部】

依頼	0022-1A : じゃあ、伝えときまーす。	A : 陳述・表出
	0022-2A : はいーい。	A : 注目表示
	0023B : はい。	B : 注目表示
挨拶 別れの	0024A : じゃあねー。	A : 関係づくり, 儀礼
	0025B : バイバイ。	B : 関係づくり, 儀礼

(4) 首都圏若年層女性ペア (先輩後輩)

【開始部】

相手 確認	0001C : もしもーし。	C : 注目要求
	0002-1A : あ、	A : 注目表示
	0002-2A : もしもし、	A : 注目要求
	0002-3A : こんにちはー。	A : 関係づくり, 儀礼

	0003-1C : あ、	C : 注目表示
	0003-2C : //はい、こんにちは。	C : 関係づくり, 儀礼
	0004A : あの、見教1年のA (名) です。	A : 陳述・表出
	0005C : はい。どしたの。	C : 注目表示、情報要求

【主要部】

事情説明	0006-1A : あのー、	A : 注目要求
	0006-2A : 来月にー、	A : 情報要求 (1/2)
	0007C : //うん。	C : 注目表示
	0008A : あの、野外活動、あるじゃないですかー。	A : 情報要求 (2/2)
	0009C : うん、あるね。	C : 注目表示, 陳述・表出
用件のやりとり	0010A : でー、それってー、あの、C (名) さん、こないだ欠席されてたので、出欠を確認できていないんですがー、	A : 陳述・表出
	0011C : うん。	C : 注目表示
	0012A : C (名) さん、来られますか↑。	A : 情報要求
	0013C : あー、E先生って来るのー。	C : 注目表示, 情報要求
	0014-1A : あ、	A : 注目表示
	0014-2A : E先生、いらっしゃいます。	A : 陳述・表出
	0015C : あー、そっかー。	C : 注目表示
	0016A : //はい。	A : 注目表示
	0017-1C : うん、。	C : 注目表示
	0017-2C : じゃあ、行こうかなー。	C : 陳述・表出
	0018A : //あ、	A : 注目表示
	0019C : じゃ、うん、	C : 注目表示
0020A : //はい。	A : 注目表示	
依頼	0021C : 出席でお願いします。	C : 行為要求
	0022A : わかりましたー。	A : 陳述・表出
	0023C : //はい。	C : 注目表示

【終了部】

依頼	0024A : じゃ、また、詳細はまた後日、連絡い、します。	A : 陳述・表出
	0025C : うん、	C : 注目表示
	0025C : お願いします。	C : 関係づくり, 儀礼
別れの挨拶	0026-1A : はい、	A : 注目表示
	0026-2A : すいませんでした。	A : 関係づくり, 儀礼
	0026-3A : {笑}	A : 注目表示
	0027-1C : {笑}	C : 注目表示
	0027-2C : はい。	C : 注目表示
	0028A : 失礼しまーす。	A : 関係づくり, 儀礼